

小高志

No.4

2015年11月

小高地域構想ワーキンググループ
(小高区地域協議会)

小高のまちなかを
楽しみ、歩き、考える



2015年度 第3回小高地域構想ワーキンググループ

まちなカフェ × 小高あるき — 第2弾 — × まちなかプラン



イベント全体では四時間ほどの間に百人を超える方々にお越しいただきました。南相馬のみなさまにお手伝いいただき、小高商工会、小高浮舟ふれあい広場、3B+α、南相馬市文化遺産を活かした復興まちづくり実行委員会、菓詩工房わたなべ、松月堂、スターバックスコーヒー日本の皆様（敬称略、順不同）にご協力をいただきました。ありがとうございました。



十月四日（日）午後、小高の晴天の下でコーヒーを飲み、小高のまちなかを歩き、未来を考える企画を開催しました。

このイベントは三つの要素から成ります。無料でコーヒーが振る舞われた「まちなカフェ」、小高のまちなかを専門家の解説を交えながら巡るツアー「小高あるき」、そして「小高まちなかプラン」に対して意見を交換するワークショップです。

「まちなカフェ」では地域の方の手によってスターバックスのコーヒーが淹れられ手渡されました。会場のふれあい広場には、小高全体の模型やまちなかに計画されている施設の説明のパネルが並び、多くの方がコーヒーを片手にご覧になっていました。

「小高あるき」は七月四日に続く第二弾でした。前回とは異なるコースを、歴史的建造物・町並みの専門家の方々の案内にそって巡りました。同時に「小高まちなかプラン」の解説も実際の空間を前に行ない、小高の過去と未来に想いを馳せるツアーとなりました。

小高あるきを終えた後に、「小高まちなかプラン」について議論するためのワークショップを開催しました。小高区、原町区から東京都、兵庫県まで様々なところから二十数名の方にご参加いただきました。ワークショップについては六・七頁をご参照ください。

小高の素地
1970年代後半の航空写真です。
特徴ある地形を活かした
多様な在があります。



阿武隈高地を境に浜通りはなだらかな東斜面になっています。麓の在では、畜産酪農も営まれています。

東流する川は何本も平行し、それらの河岸段丘は太平洋まで繋がっています。海沿いの在が点在しています。川と川の間は、低地部で霧もでます。小高城が浮舟城と言われた所以です。

田んぼのために堤と呼ばれる溜め池がたくさんできました。二宮尊徳の教えです。阿武隈高地からの冷たすぎる水がぬるくなる機能も持ち合わせていました。

※国土地理院電子地図より転載 1974-78 年空中写真（承認不要範囲）、一部加工

地域スタッフ& スタバスタッフの声

今回まちなカフェのボランティアとしてお手伝いをさせていただきましたが、最初は、私に出来ることがあるのか、迷惑をかけてしまうのではないかと不安でした。しかし、小高に住んでいた方以外にも、復興を応援している方がたくさんいることに気付かされました。まだ出来ることは限られていますが、このような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

震災後、私にとっては久しぶりの小高でしたが、おじいちゃんやおばあちゃんの住んでいたあの大好きな小高の町並みやお祭りなど、早く以前のように「復活」してほしいと強く思いました。(中学2年)

自分の故郷の復興に向かうための一つとして、東大の皆さんとスターバックスの皆さん達とボランティアで、短い時間でしたがとても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございます。(原町高校一年)

今回地元の復興の為スターバックスチームをはじめとした多くの人の協力の元、まちなカフェが出来た事、この企画に参加できた事大変嬉しく思います。今回の事だけで終わらずこの事が活かせるようにしていけたらいいと思います。(原町高校一年)

当日は、多くの方が、私たちが淹れたコーヒーを飲みながら小高区の「これから」や、「いままで」のことを話されていました。参加者の方の表情をみながら、「地域をつくる」ということはとても難しい課題ですが、コーヒーを片手にいろんな話をすることが第一歩で、必要なことかもしれないと感じました。(理学療法士)

スターバックスでは、震災から今日まで東北各地でコミュニティカフェのお手伝いをさせていただいております。今回は“小高まちなプラン”の共有及びご意見を伺う場として、はたしてコーヒーの力でお役にたてるのかと心配をしておりましたが、コーヒーを飲みながらこころ穏やかに、様々な世代が小高の未来について語り合うシーンを拝見することができ、今回のプロジェクトを通してまだ入口ではありますが、小高の皆様と“思いを共有”できた実感しております。引き続き小高の未来を応援する一員としてお手伝いさせていただければ幸いです。(スターバックスコーヒー・ジャパン株式会社社員)



▲ にぎわう小高浮舟ふれあい広場
カフェには、約 120 人もの方が訪れ、コーヒーを楽しみました。

「まちなカフェ」では、中学生・高校生を含む七名の地域スタッフが、スターバックスカフェの店員にコーヒーの淹れ方を習い、来場者に振る舞いました。

また、震災前、まちなかにお店を構えていた「菓詩工房わたなべ」「松月堂」からお菓子もご提供頂き、午後のティータイムに花を添えました。

小高地域構想ワーキンググループでは、活動紹介パネルなどを作成したほか、カフェの場でまちなかプランを解説しながら、来場者の皆様と小高の将来について語り合いました。



▲ 模型を見て話す来場者の方々



▲ まちなかプラン案に、付箋で
ご意見をいただきました

◀ 古地図を使った「この場所どこ
でしょうマップ」

「まちなカフェ」開店！



▲ 絹業会館の前で解説を聞きました



▲ 書類が当時のまま残っています



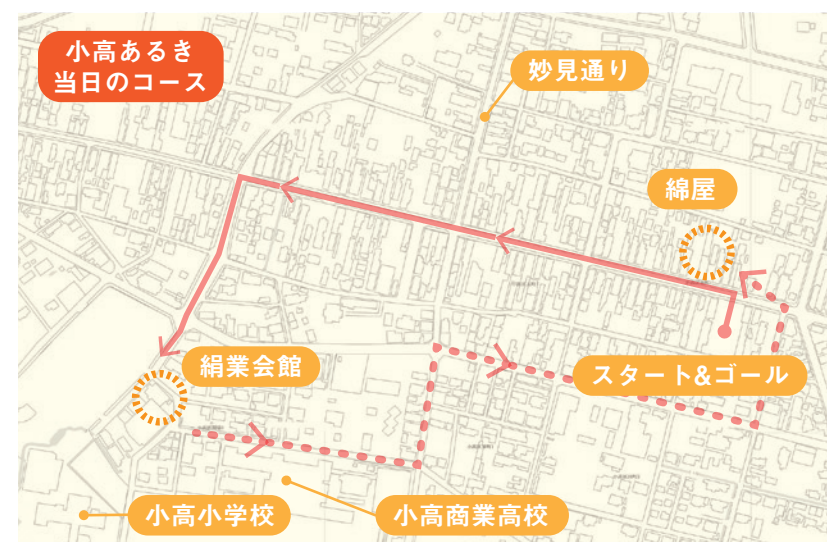
▲ まちなかプランを見ながら歩く人も



▲ 綿屋の母屋に続く、三連蔵



▲ 昔の駅前通りの様子と見比べながら歩きました



今回のコースは通りごとの特徴や敷地の使い方などに注目しながら歩き、二カ所の建物を見学するものでした。

ふれあい広場から駅前通りを西に進み、かつての川筋を小高小学校に向かって進みます。絹業会館は格子状のコンクリートの装飾が特徴的な建物です。所有者の方に小高の絹業の変遷をお話いただき、その後建物の中にも入れていただきました。当時使われていた機業場の屋号の書かれた札入れが壁に残っていました。二階に上がると広い窓があり、テラスが続いています。気持ちの良い陽の光が差し込んでいました。

小高商業高校の前を通り北東方向に進みます。蔵の窓の設えや商業高校の校舎の梁の形などにさり気ない装飾が見つかります。小高の建物の特徴のひとつです。

綿屋では敷地の中に入れていただき、駅前通りからは見えない、三つ連なった蔵と対面しました。綿屋はかつて常磐線沿線に支店を展開するなどしていた呉服屋でした。蔵は明治・大正時代に建てられたものですが、震災の影響で一部損傷しています。

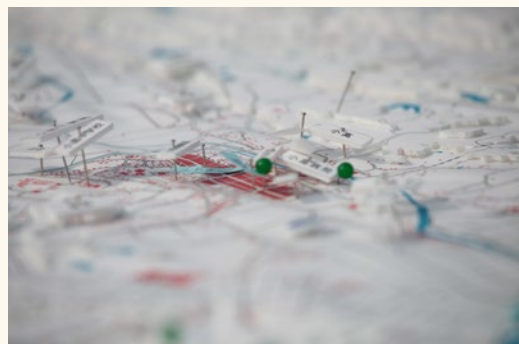
今回の小高あるきから、小高のまちなかは製造業や卸業などが営まれる多面的な機能を有していた街だったことや、在や他の地域との結びつきがそれらを支えていたことがわかります。小高全体の将来を考える上でも意識したいことです。

小高あるき第2弾

第一回まちなかプラン・ワークショップ開催！



▲ ワークショップの様子。3つのテーブルに分かれて話し合いました。



▲ 模型は、おだかぶらっとほーむ（旧すずきミート）にあります！

小高あるきの後に、今回初めてのお披露目となった「まちなかプラン」について直接ご意見を伺うワークショップを行いました。

◀ 小高あるき第二弾からそのまま参加してくださった方も多く、歩いた感想も含め、小高の魅力を共有しました。ワークショップのまちなかプラン部分の詳細は、11/1 配付の記事をご覧ください。

他企画との兼ね合いにより、ワークショップの時間が、一時間少々大変短くなってしまいました。議論の時間を十分に設けられなかったことをお詫び申し上げます。
前回の反省をふまえ、みなさまからのご意見を伺いやすいように、二回のワークショップを企画しました。ぜひご参加ください。

まちなかプラン

ワークショップ&座談会

十一月十五日（日）午前十時半から

第二回まちなかプランワークショップ

▼ 場所：浮舟文化会館第一・二研修室

十一月十八日（木）午後七時から

第三回まちなかプランワークショップ

▼ 場所：原町生涯学習センター

（サンライフ南相馬）

※十五日と十八日は同一の内容です。

十一月十八日～二十日頃に各仮設住宅集会所を回り、座談会を開きたいと考えております。ご協力お願いします。

十一月二十日（金）

パブリック・コメント受付

※ワークショップに参加できないという方も、メールやFAX等で随時ご意見お待ちしております。

Q. どんどこが小高の魅力ですか？

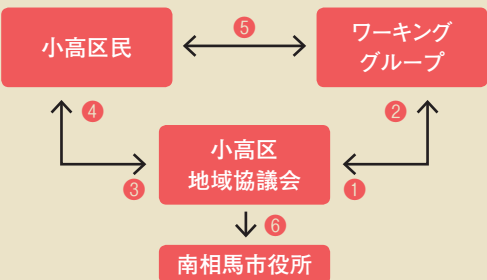
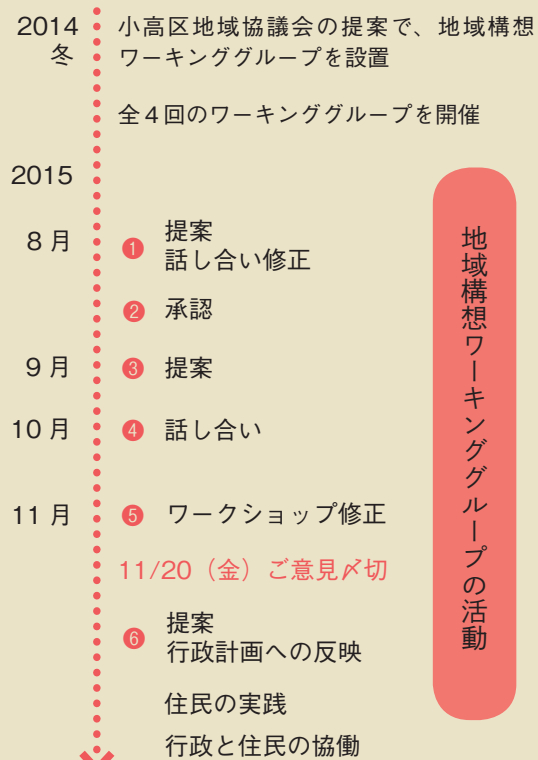
- なんととっても深みのある**歴史**
「歴史のあるまち」「歴史と文化」であり、「野馬懸」「古くから盛んであった呉服と建物の町並み」「蔵や石造りの建物がまちなかに点在しているところ」といった具体的な風景ががありました。
- 古さと**新しさ**との共存
さらに「古い町並みと新しい町並みが両方見られるところ」「時代ごとに新しい様式を取り入れてきたところ」といったように、ワクワクする新しさもまちなかの魅力であることが共有されました。
- 巧く**出来ているまちなかの空間**
「まちなかの敷地が縦長でユニーク」「学校、病院、商店などが駅前に集中していたところ」「駅前通りに色々なお店が建ち並ぶ」「小学校周りがなんかいい」など、まちなかの空間の魅力がたくさんありました。
「使い方を変えれば素敵に変身しそうな建物がある」という素晴らしいアイデアも！
- **自然**があってこそ！
「自然が豊かでどのかなところ」「町と山と海がコンパクトにまとまっている」「自然・食べ物の宝庫」。季節を心身で感
- 究極は**人**！それがに**じみ出る**まち
「人が温かい」「のんびりほのぼのしたまちと人柄」「ゆるくて”ふつう”な感じがいい」。

まちなかプランづくりの今後の予定

ワーキンググループでは、文献・インタビュー・景観調査をふまえて、まちなかの意義や歴史、震災前の風景を話し合っていました。

その活動を通していただいたご意見をまとめたものが「まちなかプラン」案です。
みなさまのご意見をさらに反映させ修正した「まちなかプラン」を、小高区地域協議会から南相馬市役所に届けます。

地域構想ワーキンググループの活動



小高地域構想ワーキンググループ （小高区地域協議会）

東京大学工学部都市工学科
地域デザイン研究室
〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
工学部1号館411
TEL: 03-5841-1845 FAX: 03-5841-6265
E-mail: odaka@td.t.u-tokyo.ac.jp
南相馬市小高区地域振興課
福島県南相馬市小高区本町2丁目78番地
TEL: 0244-44-6716 FAX: 0244-44-6047
mail: murai-hiroyuki@city.minamisoma.lg.jp

皆さん小高の
どこかわかりますか？





小高の秋

facebook 始めました!
「小高地域構想ワーキンググループ」で
検索してください。活動状況を随時
更新しています。

復興拠点施設連続ワークショップに行こう！

- | | | | |
|-----|-----------|-------|--------------------------|
| 第一回 | 十一月一日（日） | 十三時から | 浮舟文化会館（終了） |
| 第二回 | 十一月十五日（日） | 十三時から | 浮舟文化会館 |
| 第三回 | 十一月十九日（木） | 十九時から | 原町生涯学習センター
（サンライフ南相馬） |
| 第四回 | 十二月十三日（日） | 十三時から | 浮舟文化会館 |
- まちなかで計画されている復興拠点施設について、南相馬市が、全四回の連続ワークショップを開催します。予約不要です。小高にとってより良いものにしていくために、みんなで話し合いに行きましょう。

ワーキンググループの予定

十一月十五日（日） 午前十時から
浮舟文化会館 研修室

十一月十八日（水） 午後七時から
原町生涯学習センター
（サンライフ南相馬）

まちなかプラン案へのご意見を伺うため、ワークショップを行います。初めての方のご参加もお待ちしております。

小高地域構想ワーキンググループ （小高区地域協議会）

小高区地域協議会の提案を受けて設置されました。住民を中心に小高の復興に関心を持つ人々が集まり活動しています。

東京大学 工学部都市工学科 地域デザイン研究室
03-5841-1845 odaka@td.t.u-tokyo.ac.jp
南相馬市小高区地域振興課

0244-44-6716

協力：仲光寛城（ナカミツデザイン）